

会 議 録

1 会議名

第2回大潟区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

・協議事項（公開）

（1）令和元年度地域活動支援事業（大潟区）提案事業のプレゼンテーションについて

（2）令和元年度地域活動支援事業（大潟区）提案事業の審査について

・その他（公開）

3 開催日時

令和元年5月30日（木）午後6時から午後8時30分まで

4 開催場所

大潟コミュニティプラザ 2階 大会議室

5 傍聴人の数

4人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：石田浩二、梅木英亮、金澤幸彦、君波豊、後藤紀一、小山茂、佐藤忠治、佐藤博之、内藤恒、中嶋浩、細井義久、柳澤周治、山田幸作、山本宏
（16名中14名出席）

・事務局：鍵田大潟区総合事務所長、佐々木次長（総務・地域振興グループ長兼務）、平山市民生活・福祉グループ長、渡邊教育・文化グループ長、朝日総務・地域振興グループ班長、水澤総務・地域振興グループ主任

8 発言の内容（要旨）

【佐々木次長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の

出席を確認、会議の成立を報告。

【佐藤忠治会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：小山茂委員に依頼

【佐藤忠治会長】

それでは、協議事項（１）令和元年度大潟区地域活動支援事業大潟区提案事業のプレゼンテーションに入る。プレゼンテーションの方法について事務局から説明する。

【朝日班長】

資料１、２により説明。

【佐藤忠治会長】

事務局から説明があったが質問はあるか。

（一同無し）

【佐藤忠治会長】

では、プレゼンテーションを始める。提案事業No. 1「大潟の子どもを育てる会」から提案された「子ども体験事業」についてプレゼンテーションをお願いする。

【大潟の子どもを育てる会】

プレゼンテーションを実施。

【佐藤忠治会長】

質疑を求める。

【君波豊副会長】

提案書提出時は講座の内容が決定していなかった。しかし、予算は決定しているために、予算に縛られて子どもたちの満足する内容にならないのではという心配があったが、そうはならないと解釈してよいか。

【大潟の子どもを育てる会】

講座の数は昨年より減っている。計画を立てる段階でおおよその予算を考えながら、実施できる講座数とした。

【佐藤忠治会長】

他に質問はないか。

（一同無し）

以上で「子ども体験事業」のプレゼンテーションを終了する。

次に、提案事業 No.2 「九戸浜町内会」から提案された「九戸浜のお宝発掘事業」のプレゼンテーションをお願いする。

【九戸浜町内会】

プレゼンテーションを実施。

【佐藤忠治会長】

質疑を求める。

【君波豊副会長】

九戸浜は歴史のある町内である。皆さんも見たことがあるかもしれないが、稲町内会が「稲のなりたち」、上綱子町内会が「私の育った上綱子」という冊子を作っている。上綱子町内会の冊子は私も持っているので必要があれば参考にして、良い冊子を作っていただきたい。

【九戸浜町内会】

上綱子の冊子は、昔のいい写真がたくさん掲載されている。私も冊子を持っているので参考にしたいと思う。

【佐藤忠治会長】

大学教授及び郷土史家に、監修の謝礼として3万円が予算計上されている。具体的にどなたに依頼するのか。

【九戸浜町内会】

これから冊子を作成していく過程で、歴史的な内容も含まれているので、専門性の高い方から監修をしていただきたいと思っている。どなたをお願いするか具体的には決めていない。

【佐藤忠治会長】

他に質問はないか。

(一同無し)

以上で「九戸浜のお宝発掘事業」のプレゼンテーションを終了する。

次に、提案事業 No.3 「マリンドリームズやちほ」から提案された「バスケットボールを通じての地域活性及び青少年の健全育成事業」のプレゼンテーションをお願いする。

【マリンドリームズやちほ】

プレゼンテーションを実施。

【佐藤忠治会長】

会則はいつ変更したのか。

【マリンドリームズやちほ】

1月からである。会則の第三章活動で「クラブは八千浦地区中心で運営するため、地域貢献活動を行う。」とあるが八千浦区のとくに大潟区と頸城区を追加した。

【内藤恒委員】

今後の見通しについて聞きたい。大潟区では同一事業での提案は3回までと定めているが、3回提案した後をどのように考えているのか。

【マリンドリームズやちほ】

3回提案をして、大潟区で補助金が受けられなくなったとしても、会や保護者の負担により、これまで通りの活動をしていきたいと思っている。

【内藤恒委員】

少子化の時代であるが、会員を増やしていくという部分の見通しはどうか。

【マリンドリームズやちほ】

今年度、体験会を1回増やして7月と11月に予定している。体験会を通じてPRしていきたい。また、会員募集ポスターについて、例年の1.5倍の箇所に掲示をしており会員確保に繋がればと思う。

【内藤恒委員】

参加するコーチや保護者の費用は自己負担なのか。

【マリンドリームズやちほ】

基本は自己負担である。

【後藤紀一委員】

参考に聞かせていただきたい。上越全体でどれくらいのチーム数があるのか。

【マリンドリームズやちほ】

上越地区というのが、上越市、糸魚川市、妙高市の範囲になる。正確な数はわからないが、女子のチームを入れて20以上のチームがある。新潟県は、上越市から五十嵐選手、新発田市からは富樫選手と日本代表選手も輩出しており強豪県である。子どもたち

にバスケットの楽しさを伝えていきたいと思う。

【佐藤忠治会長】

以上で「バスケットボールを通じての地域活性及び青少年の健全育成事業」のプレゼンテーションを終了する。

次に、提案事業 No.4 「上越市防災士会大潟支部」から提案された「大潟地区自主防災支援事業」のプレゼンテーションをお願いする。

【上越市防災士会大潟支部】

プレゼンテーションを実施。

【佐藤忠治会長】

質疑を求める。

【後藤紀一委員】

消防署は時期によって講習会などの申込みが集中することがあるため、今回機材を購入して防災士会が講習会等を実施するという提案だが、昨年、防災士会が講習会等に向いて行った町内会はどのくらいあるのか。

【上越市防災士会大潟支部】

昨年は、消防署の助手のような形でお手伝いさせていただいた。大潟支部として独自に実施したものはない。

【後藤紀一委員】

今回はどれくらい予定しているのか。

【上越市防災士会大潟支部】

消防署との関係もある。消防署が対応できる場合は協力という形でやっていきたい。消防署が対応できない場合はもちろんだが、今回採択していただけた場合は、PRをして積極的に取り組んでいきたいと思っている。

【内藤恒委員】

先ほど後藤委員が質問したが、年何回くらい計画しているのか。応急手当普及員は、5人以内であれば初級講習を開くことができることは承知している。また、これだけの機材を揃えると管理も大変である。そのあたりの見通しはどうか。

【上越市防災士会大潟支部】

応急手当訓練は、10人以内を対象に申請して実施する。それ以外に各自主防災組織

の訓練は問題なく実施できる。年何回実施するかは、まだ考えていない。PRも必要であるし、この提案が採択されてからのスタートとなる。

【内藤恒委員】

救急法も日々変わっていく。応急手当普及員となると、そのための勉強や高度な技術が必要になってくる。これだけの機材を揃え、防災士会は専門家として生きるつもりなのか。

【上越市防災士会大潟支部】

そうではない。私も応急手当普及員の資格がある。そのほかにアメリカ心臓協会認定のBLSの資格を持っていて、こちらは2年更新である。そのため普段から勉強しているつもりである。補助してもらう方にも事前に再度勉強をしてもらっている。

【佐藤忠治会長】

以上で「大潟地区自主防災支援事業」のプレゼンテーションを終了する。

次に、提案事業 No. 5 「雁子浜町内会」から提案された「夜泣き地藏看板設置及び人魚伝説公園案内ポール設置事業」のプレゼンテーションをお願いする。

【雁子浜町内会】

プレゼンテーションを実施。

【佐藤忠治会長】

私から質問をする。

このような文化財は、このほかに町内の中にいくつあるのか。

【雁子浜町内会】

人魚伝説公園の基となる人魚塚がある。所有者との話し合いがうまくいかず、雁子浜にひっそりと佇んでいる。周りが竹やぶのため、町内会が竹を刈って訪れる人が見学できるようにはしている。また、おおがた再発見マップに掲載されている「横穴」があるが、最近崩れてきていて使っていないのが現状である。

【佐藤忠治会長】

ほかに質問等はないか。

(一同無し)

以上で「夜泣き地藏看板設置及び人魚伝説公園案内ポール設置事業」のプレゼンテーションを終了する。

次に、提案事業 No.6 「大潟フェニックス」から提案された「大潟運動場（グラウンド及びグラウンド周辺）の環境整備事業」のプレゼンテーションをお願いする。

【大潟フェニックス】

プレゼンテーションを実施。

【佐藤忠治会長】

私から質問をする。

基礎部分の計画変更により見積書を再提出されているが金額の変更はないのか。基礎工事をしなければ価格が下がると思うがどうか。

【大潟フェニックス】

基礎工事をしないかわりに建屋の床面に強度を持たせる必要がある。そうすると、合計金額に変更はない。

【佐藤忠治会長】

工事は犀潟鉄工所がすべて行うのか。

【大潟フェニックス】

そうである。

【君波豊副会長】

個人的には、大潟運動広場を利用してほしいと思っている。それによって、大潟運動広場をもう少し綺麗にしてもらおうきっかけとなればいいと思っている。渋柿浜の大潟運動場は手入れが行き届いており、子どもの安全を考えてグラウンド整備をされていて感心している。固定の用具収納庫を作る計画であるが、今後、維持管理を進めていくうえで、保護者の負担が増えないよう配慮していただきたい。また、木造であれば30年から40年は持つと思うので、持続可能な野球チームであってほしい。

【佐藤忠治会長】

この用具収納庫は、大潟フェニックスの用具のみを収納する予定なのか。渋柿浜町内会の所有する物品も入るのか。

【大潟フェニックス】

防球ネットやポールは市から町内会に移管されたものであるが、設置や取外しは大潟フェニックスが担ってきた。そのため、防球ネット等は町内会所有であるが収納する。建物の管理は大潟フェニックスが行う。

【佐藤忠治会長】

収納庫の鍵は大潟フェニックスが管理するのか。渋柿浜町内会も持つのか。

【大潟フェニックス】

複数人が持っていた方がよいと思うので、町内会と相談して決めたい。

【佐藤忠治会長】

少年野球に関心があり、新聞等で試合結果を確認している。最近、大潟フェニックスの名前があまり出ないがどうしたのか。

【大潟フェニックス】

学童野球は、昨年まで高田地区と直江津地区と別れており個々の大会もあった。今年から統一されて全部で33チームあり、大きな大会のみ開催されるようになった。優勝するには5試合を勝たなければならず難しい状況である。

【佐藤忠治会長】

主力は何年生か。女子はいるのか。

【大潟フェニックス】

6年生が中心である。女子も入っている。

【佐藤忠治会長】

以上で「大潟運動場（グラウンド及びグラウンド周辺）の環境整備事業」のプレゼンテーションを終了する。

次に、提案事業 No.6 「大潟町中学校PTA」から提案された「生徒と地域をつなぐ活動の周知事業」のプレゼンテーションをお願いする。

【大潟町中学校PTA】

プレゼンテーションを実施。

【佐藤忠治会長】

質疑を求める。

【柳澤周治委員】

再確認だが、これまで中学校関係の提案は後援会が中心であり、PTAからの提案は初めてである。カラー印刷はインパクトや説得力があると思うが、PTA単独ではなく後援会と共同で提案したほうが金額的にも良かったのではないかと感じる。あえてPTA単独で提案した理由をもう一度お聞きしたい。

【大潟町中学校PTA】

後援会は部活動を中心に支援している。昨年度、後援会が地域活動支援事業に提案して吹奏楽部の楽器を購入した。また、部活の遠征費などを支援している。PTAは、全校生徒が関わる活動やリサイクルバザーのように地域に出ていく活動に支援をしている。そのため、今回の事業はPTAが提案するのが望ましいと考えた。

【柳澤周治委員】

了解した。

【後藤紀一委員】

リースは3年間で終わって、その後は保守点検料を支払えば継続して使用できるという説明であったが、毎年30万円近い金額をPTAが負担していくのか。また、カラー印刷はレーザーではなくインクジェットなのか。

【大潟町中学校PTA】

保守点検料は、3年経過後は金額が下がるためPTAで賄っていけると考えている。印刷はインクジェットである。

【佐藤忠治会長】

補助希望額が大きい。これは、PTAに負担をかけるのではなく、学校が教育委員会に要求しないのか。

【大潟町中学校PTA】

以前、中学校が教育委員会に要望を出したこともあるが通らなかった。

【佐藤忠治会長】

私も人権問題や同和問題に関心があり、町内会の回覧で中学校で開催される講演会を知って参加したことがある。その時の参加者は私一人であった。私は、参加者が少ないのはチラシがカラーだとか白黒だとかではないと思う。まちづくり大潟にもカラー印刷機はある。今後、一般団体の利用も考えているとのことだが、外部の者が学校に入るのは厳しいと思う。時間も限られている。

【大潟町中学校PTA】

メールでデータを送ってもらえば、印刷されたものを取りに来てもらうだけでいい。そういった仕組みを作りたいと思う。

【佐藤忠治会長】

住民サークルなどの人にはメール等は無理である。そうなると小中学校のPTAぐらいしか利用できない。

【大潟町中学校PTA】

そうではない仕組みを考えていきたい。どうすれば地域の人を使いやすいかを考えていければと思っている。

【佐藤忠治会長】

他の学校のPTAで同じような事業をやっているところはあるか。

【大潟町中学校PTA】

他の事業で地域活動支援事業に提案しているものはあるが、同事業ではないと思う。

【佐藤忠治会長】

以上で「生徒と地域をつなぐ活動の周知事業」のプレゼンテーションを終了する。

次に、「まちづくり大潟」から提案された提案事業 No. 8「大潟区をアピールする事業」と提案事業 No. 9「大潟区の魅力発見・発信事業」の2事業についてプレゼンテーションをお願いします。

【まちづくり大潟】

「大潟区をアピールする事業」と「大潟区の魅力発見・発信事業」のプレゼンテーションを実施。

【佐藤忠治会長】

大潟区をアピールする事業で、アピールスポットに黄色のコンクリートで人魚館という文字がある。小山作之助やかっぱ祭りの看板はいいが人魚館についてはどうするのか。

【まちづくり大潟】

草も生えていてよく見なければわからない状態だと思う。まちづくり大潟としては、そのままにしておく。ツツジの咲いているライン上に新たに看板を設置しようと考えている。

【佐藤忠治会長】

来年度、新たに人魚館の看板も設置する予定なのではないかと思っていた。

【まちづくり大潟】

今回の看板の内容として、地域に密着している小山作之助とかっぱ祭りということに

なった。人魚館や体操アリーナ、鵜の浜温泉などについてはそれぞれの経営者や管理者にやってもらいたいと思う。

【佐藤忠治会長】

他に質問等はないか。

(一同無し)

では、「大潟区をアピールする事業」と「大潟区の魅力発見・発信事業」のプレゼンテーションを終了する。

予定していたすべてのプレゼンテーションが終了した。ここで、15分間の休憩に入る。基本審査票は事務局が回収するので、机の上にまとめておいていただきたい。

(休憩)

【佐藤忠治会長】

では、再開する。次に、(2)令和元年度地域活動支援事業の審査を行う。審査の進行は事務局に願います。

【佐々木次長】

それでは、地域活動支援事業の審査を開始する。基本審査の結果、すべての事業において地域活動支援事業の目的に適合すると判定した委員が、2分の1以上となった。ついで、「採択方針との適合」と「共通審査基準」について、記入が済んでいない方は、記入いただきたい。

以上で、全事業の審査が終了した。採点表の回収は、本日の地域協議会終了後に行う。採点結果は、次回地域協議会で報告させていただく。

【佐藤忠治会長】

本日の採点結果を踏まえた中で、点数の高いものから順に、事業採択及び補助額決定について、次回の協議会で協議を行う。なお、審査の結果、不採択となり補助金の交付が行われない場合や、補助希望額として申請した金額よりも減額して交付決定を行う場合がある。以上で協議事項(2)を終了する。

次に、4その他に移る。委員から連絡等はあるか。

【君波豊副会長】

5月29日、県立柿崎病院後援会の理事会が開催された。楡井県議が会長、柳澤委員が副会長となっている。柿崎病院については、厳しい経営状況が続いている。太田院長

からは地域医療に力を入れていくと話があった。7月20日土曜日に「生き生き健康講座」が開催されるので、ぜひ参加していただきたい。

かっぱ祭りが近づいてきた。5月26日には会場整備が実施され、31日には機材搬入の予定である。実行委員会では20,000人を超える来場者を期待して準備しているので、皆さんからもお力添えをお願いしたい。

【佐藤忠治会長】

5月18日に東京大潟会総会が開催され参加してきた。大潟区からは鍵田所長はじめ18人の参加があり、全体では82人の出席者であった。総会では10年間会長職を担っていただいた雁子浜出身の泉信吾さんが退任され、後任に犀潟出身の平原一平さんが選任された。

【柳澤委員】

本日、吉川高等特別支援学校の理事会と総会があり、理事として出席してきた。吉川高等特別支援学校は来年10周年を迎えるため記念事業を計画しており、そのための実行委員会を立ち上げることが承認された。吉川高等特別支援学校は自主通学ができる生徒が通っており、地域の行事に参加されており昨年から大潟区の七夕・絆まつりにも参加してくれている。

【佐藤忠治会長】

では、次回の地域協議会について事務局から連絡する。

【佐々木次長】

第3回大潟区地域協議会は6月13日（木）午後6時30分より開催する。

【佐藤忠治会長】

予定していた議題はすべて終了した。

【君波副会長】

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

大潟区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-534-2111（内線201、216）

E-mail：ogata-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。